



令和8年

二十歳のつどい



令和8年二十歳のつどいが1月11日（日）、行方市文化会館で開催されました。

本年めでたく二十歳を迎えたのは、本市が誕生した平成17（2005）年度生まれの皆さんです。会場では、華やかな晴れ着やスーツに身を包んだ参加者が、久々に会う友人との再会を喜びながら談笑したり、写真を撮ったりする姿が見られました。

企画・進行は、卒業した中学校の代表で構成する実行委員会が中心となっており行われました。また当日は、社会貢献を目的に募金活動を行いました。集まった支援金は、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて世界中の子どもたちを救う活動に活用されます。

式典では、市長や来賓からお祝いの言葉が贈られ、代表者が今後の抱負の言葉を述べました。

式典後のアトラクションでは、中学校時代の先生方が駆け付け、節目を迎えた教え子たちへお祝いの言葉が贈られました。また、実行委員会を中心となって作成した思い出の動画上映では、歓声や笑い声が響き、会場は当時を懐かしむ雰囲気になりました。

未来に向けて羽ばたく二十歳の皆さんの、今後の活躍が期待されます。

今年の二十歳は…

304人

※市内在住者、市立中学校卒業生

平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた人

女 146人 (48%)
男 158人 (52%)

「平成の大合併」が最も活発に行われた時期に生まれ、中学卒業や高校入学などの節目を新型コロナウイルス感染症の影響下で過ごした世代でもあります。

Program

- 1 開式の言葉
 - 2 国歌斉唱
 - 3 市長式辞
 - 4 来賓祝辞・知事メッセージ
 - 5 参加者代表発表
 - 6 記念品贈呈
 - 7 謝辞
 - 8 閉式の言葉
- ・アトラクション
（恩師メッセージ・記念動画放映）
・記念撮影

二十歳を迎えての抱負

一代表発表一（要約）



荒木田 七咲 さん

私は現在、地元を離れ、東京の大学で経済学・経営学を学んでいます。学ぶことで、今まで他人事として聞き流していたニュースにも背景やつながりがあることが分かり、社会全体の動きを自分事として捉えられるようになりました。

今は検索すればすぐに何でも分かる時代ですが、答えを知ることと考えることは別のものだと感じています。だからこそ、自分の中に知識を育てて、その上でどう考えるか、どう行動するかを他人に流されず、自分で決められる大人でありたいと思います。

社会に出れば、点数で測られる定期試験はありません。その分、自分が興味を持ったことや知りたいことを自分で選べるようになります。何歳になっても、初めて知ることや新たな気づきを楽しみながら、自分の世界を広げていけるような生き方をしていきたいと思っています。



本澤 武蔵 さん

私は現在、格闘技に挑戦しています。始める時は迷いましたが、高校時代の友人の言葉が背中を押してくれました。その言葉をきっかけに、挑戦の一步を踏み出すことができました。

年を重ねると、やりたいと思っても現実では難しくなることが増えてきて、挑戦の中には、若い今しかできないこともあると思います。どんなに小さなことでも構いません。もし何かやりたいことがあるなら、失敗を恐れずに挑戦してみてほしいと思います。

本日、新たな一步を踏み出す私たちですが、挑戦する心が明るい未来への第一歩となるはずです。これから先、つまずくことや、大きな壁にぶつかることがあると思います。それら乗り越えることで成長していきたいと思っています。



麻生地区



北浦地区



玉造地区

市民の皆さんが安心して
住み続けたいと思えるまちに



行方市マスコット
キャラクター
「なめりーミコット」

行方市

市民の皆さんとともに 20 年！

平成 17 年 9 月 2 日、麻生町・北浦町・玉造町の 3 町が合併し、「行方市」が発足しました。令和 7 年 9 月 2 日で、市制施行 20 周年を迎えました。



「思い出フォト」
開庁式でテープカット
を行いました。

感謝と笑顔大切に
しながら歩んでいきたい



より一層
大人として頑張ります



小さな幸せや楽しさに
気づく心を忘れない



大森 涼楓さん

行方市で育って良かったことは？

豊かな緑と水に恵まれた土地で、おいしい食べ物や温かい人々に囲まれて育った経験が、今の自分の心の支えになっています。

どんな行方市にしたい？

人と自然の調和を大切にする市にしたいです。



「思い出フォト」
曾祖父と一緒に魚を
取っている写真です。

私を信じ支えてくれた
人たちを後悔させない



自分らしく思いやりのある
大人になる



鈴木 蓮斗さん

行方市で育って良かったことは？

自然に囲まれたきれいな場所で育つことができました。湖や森、田んぼでさまざまな生き物に触れて過ごした幼少期は、私にたくさんの驚きと発見をくれました。

どんな行方市にしたい？

何度でも挑戦し、前を向き直せる市にしたいです。



「思い出フォト」
愛犬と日課の散歩。毎
朝見るこの景色が大好き
です。

宮川 陽さん

印象に残っている景色や場所は？

霞ヶ浦の堤防から見える筑波山の夕日です。水平線に沈んでいくきれいなオレンジ色が印象的で、天気が良ければ富士山も見えるお気に入りの景色です。

どんな行方市にしたい？

老若男女、みんなが生き生きと暮らせる市にしたいです。



「思い出フォト」
地域の馬出し祭りに、
幼い頃から参加してい
ます。

埴 愛梨さん

行方市で育って良かったことは？

自然豊かで、人とのつながりが温かい環境の中、地域に見守られながら、のびのび育ててもらえたことに感謝しています。

どんな行方市にしたい？

人の温もりがあふれる、温かな行方市が続いていくことを願っています。



「思い出フォト」
私の小さな頃の写真で
す。お人形遊びをする
のが好きでした。

富田 和樺さん

印象に残っている景色や場所は？

旧現原小学校で、毎年 5 月に行われていた田植えが印象的です。今も現原の田んぼを見ると、その時の楽しかった気持ちを思い出します。

どんな行方市にしたい？

「帰ってきた」と感じられる自然豊かな市を守っていきたいです。



「思い出フォト」
玉造第三保育園の運動
会で踊っているねこ組
(4 歳) の私

自分を磨き
誠実に生きます



中島 月音さん

印象に残っている景色や場所は？

霞ヶ浦の夕焼けや、家の窓から感じる四季の移ろいが大好きです。自然と共存しながら、安心して暮らせる行方市は、私の大切なふるさとです。

どんな行方市にしたい？

のどかな景観を守り、市民と共につくる活気あるまちになってほしいです。



「思い出フォト」
窓から見える夏の景色で
す。青々とした稲が風に揺られ、
強い生命力を感じます。



20 歳、おめでとう！

私たち × 行方市



20 年間、ありがとう！

